

【社会・中3・現代の民主主義（選挙の課題とわたしたちの政治参加）】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解する。
- (思・判・表) 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。
- (学びに向かう態度等) 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている

ICT活用のポイント

- ①資料を教師が精選し、その中から生徒が必要な資料を選択し、自分の考えを構築する。
- ②友達の意見を参考にして、自分の考えと比べたり補ったりしながら、考えを再構築する。

【課題をつかむ】

選挙における課題を知り、政治とどのように関わればよいか見通しをもつ

(めあて) 私たちは、政治にどのように関わればよいか考えよう

【自力解決の場面】ICT活用場面①

様々な視点を意識できるように資料の中から必要な情報を選択し、それを根拠として自分の考えを表現する。

【考えの再構築の場面】ICT活用場面②

全体共有された意見から、自分の考えの根拠を補ったり、自分と違う考えを比べたりしながら、自分の考えを再構築する。

【本時のまとめと振り返り】

本時で学んだことを「キーワード」を使いながらまとめる。単元の学習課題と関わらせながら、振り返りを行う。

事例の概要

【事例におけるICT活用場面①】

<指導者>

- 学習支援ソフト内の保存BOXに生徒が多様な見方・考え方ができる資料や考えの支援となるキーワード（単元のまとめに生かせる重要語句）を精選し、保存する。

<生徒>

- 生徒は、保管BOXに保存されている資料やキーワードを自分なりに解釈して、本時のめあてに迫る考えをもてるようにする。

【事例におけるICT活用場面②】

<生徒>

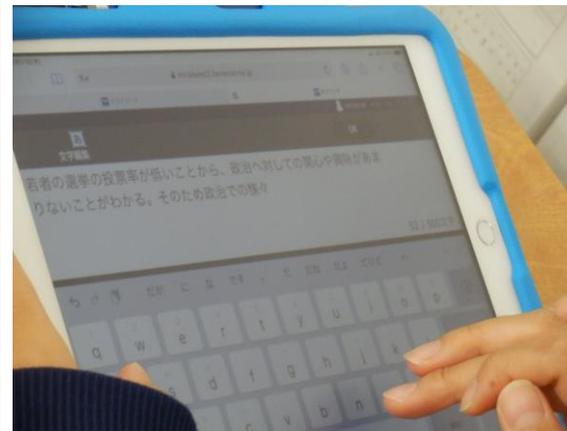
- 学習支援ソフトの「全体共有」機能を活用し、他者の考えやその根拠から、自分の考えを補ったり、自分の考えと比較したりしながら、考えを再構築する。

【社会・中3・現代の民主主義（選挙の課題とわたしたちの政治参加）】②

【事例におけるICT活用の場面①】



資料の選択



自分の考えを表現

〔自力解決〕

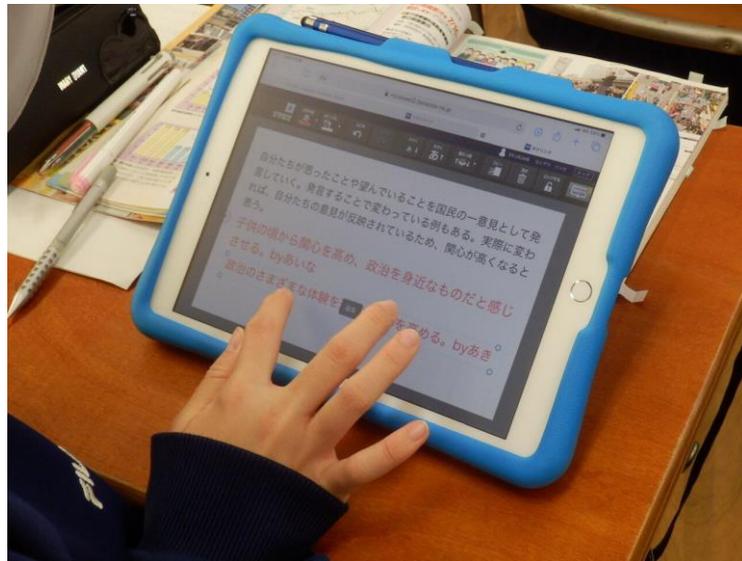
○教師の支援

生徒が多様な視点をもてるような資料や課題解決のキーワードとして使える重要語句を学習支援ソフト内の保存BOXに入れておく。

○ICT活用の効果

教師が意図的に読み取らせたい資料を精選することで、資料を探す時間が少なくなり、1つの資料を読み取る時間を十分に確保することができる。また、多面的・多角的な視点をもてる資料を与えることで、多様な視点で自分の考えをもつことができる。

【事例におけるICT活用の場面②】



自分の考えの再構築

〔考えの再構築〕

○教師の支援

全体共有時、どの資料を根拠として考えをもてたのかを生徒がすぐに把握できるように、選んだ資料を前面に表示させた。全体共有された内容から自分に必要な情報を得られるように、自分の考えとの相違点等を意識できるような視点を教師が与えた。

○ICT活用の効果

全体共有された他の生徒の考えから自分の考えと比べたり補ったりできる資料を見つける際に、画面共有された資料が前面にあることで、クラス全員の考えの中から自分と同じ根拠を基に考えをもった生徒や自分と違う根拠を基に考えをもった生徒をすぐに見つけることができ、それを生かして自分の考えを再構築しやすくなる。